

国際博覧会推進本部（第9回）

議事録

日 時：令和7年1月28日（火） 9：15－9：30

場 所：官邸4階大会議室

出席者：石破内閣総理大臣、林内閣官房長官、鈴木法務大臣、岩屋外務大臣、加藤財務大臣、あべ文部科学大臣、福岡厚生労働大臣、江藤農林水産大臣、武藤経済産業大臣、中野国土交通大臣、浅尾環境大臣、中谷防衛大臣、平デジタル大臣・内閣府特命担当大臣、伊藤復興大臣、坂井内閣府特命担当大臣、三原内閣府特命担当大臣、赤澤内閣府特命担当大臣、城内内閣府特命担当大臣、伊東国際博覧会担当大臣・内閣特命担当大臣、阿達総務副大臣、青木内閣官房副長官、佐藤内閣官房副長官

【伊東国際博覧会担当大臣】

ただ今から、「国際博覧会推進本部」を開催いたします。

いよいよ4月13日に大阪・関西万博が開幕します。

大阪・関西万博の成功に向け、政府一丸となって準備に万全を期し、機運を高めていくため、本日、国際博覧会推進本部を開催することとなりました。

本日の議題であります万博の準備状況について、資料に沿ってご説明いたします。

1 ページを御覧ください。

2017年4月の誘致の立候補から8年になり、いよいよ万博イヤーを迎えました。政府としても、万博推進本部を立ち上げ、準備を進めてきたところであります。まさに、万博成功に向けた最終段階にきております。

2 ページを御覧ください。

会場の建設は進展し、万博会場としての全貌が見えてきました。

3 ページから5 ページでは、万博のパビリオンを紹介しております。

海外パビリオン、シグネチャーパビリオン、国内・民間パビリオンなど、いずれも大変魅力的な建築であり、展示内容も次々と明らかにされているところであります。

6 ページと7 ページでは、万博のイベントを紹介しています。

魅力的なイベントが続々発表されております。会場全体で毎日繰り広げられるショーや水上ショー、その他にも開幕初日のA d o（あど）によるオープニングコンサート、各国の特色あるイベント、日本の伝統や地方の特色あるイベント等が連日開催されます。

8 ページを御覧いただきたいと思います。

万博の認知を高めるために、テレビCMや新聞広告、また、鉄道や航空機等のラッピングなどの取組も進められています。加えて、政府としても万博を契機として地方創生を促す情報発信も強化していくこととしております。

9 ページを御覧ください。

万博を契機とした地方活性化の取組で、自治体と万博参加国との交流の促進や、自治体と連携した機運醸成イベントの実施、全国の学校への出前授業を通じて、各地域における

万博への関心を高める取組を進めております。

最後に、10ページを御覧ください。

万博来場者の地方誘客についても、旅行商品の造成や万博観光ポータルサイトの活用が進められております。訪日客へのPRも行いながら、「万博プラス地方」という形で需要を掘り起こしていきたいと思っております。

以上が、万博の準備状況についての説明となります。

次に、武藤経済産業大臣より、ご発言をお願いいたします。

【武藤経済産業大臣】

ありがとうございます。博覧会協会を所管する経済産業大臣として一言、申し上げます。

運営費収入の8割を賄う予定のチケット売上は、1,400万枚の前売り販売を目標としているところ、1月22日時点で約760万枚。年末年始に集中PRを行い、年明け以降、販売枚数も増加してきているが、これから更に販売を加速する必要があると思っております。

特に、一般の方々のチケット購入は開幕直前に向けて本格化してまいります。開幕に向けて、販売を確実に増やすため、万博開催への認知を広げるとともに、関心のある人たちに、来場したいと思ってもらうことが大変重要だと思います。

各種イベントに加え、海外パビリオンの具体的な展示内容も続々と明らかになっていくことも踏まえ、メディアと連携した様々な企画、SNS等を積極的に活用した発信、全国でのイベント開催などを通じ「万博で何が見られるのか」といった万博のコンテンツのより具体的なPRを進めてまいります。

加えて、博覧会協会には、簡単に買える紙チケットについても周知を進めていくようお願いしています。また、皆様には混雑が少なく、また、気候も快適な開幕前期に来場いただくことをおすすめしたいと思います。博覧会協会には、この点に力を入れてチケットの販売促進に取り組んでいただきます。

経済産業省としても、本省のみならず地方局も挙げて、各業界の賀詞交換会や各種イベントの場をおかりしながら、経済界の皆様にも万博の内容を紹介し、来場を呼びかけてまいりました。万博の魅力を積極的に発信しながら、機運を盛り上げ、成功に導いていきたいと思っております。各位のご協力をお願いいたします。

【伊東国際博覧会担当大臣】

武藤大臣、ありがとうございました。

次に、中野国土交通大臣より、ご発言をお願いいたします。

【中野国土交通大臣】

国土交通省におきましては、大阪・関西万博の成功に向けまして、まずは、会場工事が円滑かつ安全に進むよう、現場ニーズを汲み取りつつ、関係者とともに、施工環境の改善策を講じてきました。今後も確実に進めてまいります。

次に、開幕期間中の円滑な交通を実現するため、渋滞の懸念がある会場周辺道路の拡幅や立体交差化、コンテナターミナルを利用する物流自動車の滞留防止策などが概ね完了したところです。

また、先日は、来場者輸送の主力を担う大阪メトロ中央線夢洲駅が前倒しで延伸開業し、開幕準備に当たる方々も含め、アクセスが大幅に改善したところであります。

万博は、日本の魅力を世界の多くの方々に知っていただく極めて重要な機会ですので、訪日客には、万博だけでなく、地方の魅力的な観光地へ足を伸ばしてもらい、これによって地方創生の推進にも寄与してまいります。

このため、博覧会協会とも連携して、観光コンテンツの充実や戦略的な訪日プロモーションに取り組んでまいります。

これらを始め、万博の成功に向けた幅広い対策に、引き続き緊張感を持って取り組んでまいります。

【伊東国際博覧会担当大臣】

中野大臣、ありがとうございました。

最後に石破総理から、締めくくりのご発言をいただきたいと存じます。

【石破内閣総理大臣】

今各大臣からお話でしたが、あと75日で開幕であります。もうほとんど日が残っていないといっても過言ではございません。世界が新しい日本を発見する「大阪・関西万博」に万全の体制で来場者の皆様をお迎えできますよう、大阪府、大阪市、経済界、博覧会協会とともに、我が国は、国際博覧会条約、いわゆる万博条約に基づきます「招請国政府」でございますので、言うなれば、表現は正確をやや欠くかもしれませんが、開催国という立場でございます。これは大阪府の話、大阪市の話ということではなくて、我が国政府といたしましてこの成功に向け、全力を挙げて取り組みたいというふうに考えているところでございます。

そのためには、全閣僚一丸となって機運を盛り上げることが大事でありまして、全大臣が、万博で実施するそれぞれの省庁の取組を、メディア、SNSの活用を含めて、様々な場面で発信いただきますとともに、万博の意義・魅力をPRしていただきたいというふうに思っております。

世界中から日本に来ていただき、日本の魅力を発見していただく絶好のチャンスでありますので、私自身も、面会した各国首脳に直接万博への来場を呼び掛けているところでございます。晩さん会等で必ずこれ（大阪・関西万博イメージキャラクター ミャクミャク）を陪席させまして、なんだこれはみたいなことを言う人はいなくてですね意外と。意外と海外で人気がございます。ということで呼び掛けている訳でございますし、官邸にお入りいただくと巨大なミャクミャクがありますが、そのうちしゃべるようになると思います。が、本当です。それぞれの働きかけを強化していただきたいと思っております。開幕しました後は、岩屋外務大臣を中心として、これを重要な外交機会として、有効に活用していただきたいと思っております。

これも国土交通大臣から御発言があったと思いますが、開催地大阪・関西だけではなくて、そこからどうやって地方にお越しいただくか、地方創生につなげるかということが極めて重要であります。地方の皆様方もこの万博を自分達のこととして捉えていただき、万博においでになる方も地方に関心を持っていただくという機運を盛り上げるために、担当大臣であります伊東大臣におかれましては、万博を盛り上げる地域の取組の支援の強化をいただきたいと思います。国土交通大臣におかれましては、万博来場者の地方誘客にこれまで以上に取り組んでいただきたいと思います。

武藤経済産業大臣におかれましては、博覧会協会と連携して、チケットを購入しやすい環境を整備するとともに、交通機関や店舗でのポスター、サイネージの掲示など、関係業界と協力しながら、機運の醸成を進めていただきたいと思います。

大臣の皆様方忙しくてなかなか週末に地元にお帰りになることもないかもしれませんが、例えば宮崎なら宮崎の、都城なら都城の、どこでもよいのでありますが、コンビニで本当に買えるかな、万博のチケットを買いだめと言ったらそこにあるタッチパネルを操作してくださいと言われてもですね、なかなか高齢者の方は何それみたいなことになってですね、買いにくいということが実際にあるのではないかと、あるいはお願いをしてそういうコンビニエンスストアでありますとか、そういう所にポスターを貼ってくださいというお願いをしているわけではありますが、その貼付状況がどのようになっているか、これもお願いベースでいくしかございません。

中谷大臣とか岩屋大臣とか私とか同じ世代なのでありますが、70年万博の時のあの高揚感というのでしょうか、みんな「世界の国からこんにちわ」が歌えた、踊れた。知らないという方はかなり若い世代ですが、そういうその一つのお祭りのようなものでございますし、地方創生にも是非とも結び付けたいと思っております。これはもう、開催国として主催国として何とかこれを成功させるために大臣の皆様方のお力を賜りたいと思っておりますので、それぞれ府省庁においてどんな取組ができるのか、こんなこともできるあんなこともできるみたいなことがあればですね、是非ともお考えをいただいて。

70年万博というのは、3000万人の来場を予定していたのですが、6000万人来場しました。凄かったです。月の石を見るために3時間並びました。1分見たら普通の石だったという話ですが、今度は日本館で火星の石というのを展示いたします。別に火星から採ってきたわけではないのですが、火星から落下したと違いないというか、そういうふうな断定もできるんでしょうね。それを見たら火星にも水があるんだみたいなことが分かったんだそうですが、火星の石を日本館で展示いたします。

長い話はもう終わりますが、私が中学2年生で行った時は、某電機メーカーが人間洗濯機というのを出しておりまして、きっとこれは流行るに違いないと思ったらあんまり流行らなかったのですが、ああこんな物もあるんだ、あそこで展示された物って今ほとんどが実用化されている。こういうふうに進歩ってなるもんだっていうふうに今思っているところでありますが、何とかこれを成功させるために、閣僚の皆様方のお力・お知恵、是非ともよろしくお願い申し上げます。以上でございます。

【伊東国際博覧会担当大臣】

ありがとうございました。

石破総理からご発言がありましたとおり、全閣僚挙げて、万博の成功に向けて、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

本日はありがとうございました。

以上